

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	神林久雄
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3522
事務事業名	4913 調査・計画策定事業											
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課											
施 策	16013000 土地の有効利用の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費										
	事業	030000 調査・計画策定事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進するため、調査、計画策定を行う。						都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保される。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上福島地区）の決定 3. 都市計画道路の見直し	1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上九反田地区）の決定 3. 都市計画道路の見直し
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 立地適正化計画の作成 3. 都市計画道路の見直し 4. 都市計画基礎調査の実施	1. インター周辺開発の推進 2. 立地適正化計画の作成 3. 区域区分・用途地域の見直し
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 区域区分・用途地域の見直し 3. 都市計画基本図修正	1. 区域区分・用途地域の見直し

指標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算式						単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	1	1	1	1	1	
	実績						
指標選定の理由	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
最終年度目標の根拠	都市計画の見直し状況に合わせた都市計画審議会にて決定、変更、廃止をおこなった審議議案の累計件数						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		42	1,187
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	22,626	0
一般財源		△22,584	1,187
人員数(人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,755.2	9,755.2
	嘱託職員	944.7	944.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	10,699.9	10,699.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,741.9	11,886.9

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	42	普通旅費5 通信運搬費(郵便料)37

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	都市計画変更等業務委託1,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	187	通信運搬費（郵便料）45 IC周辺開発に伴う関係機関協議のための旅費142

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	須坂市の土地利用や交通計画など市の課題解決につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効果を追求する事業ではないが、生産性の向上につながる計画の立案や土地利用の在り方に努めていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須坂市都市計画マスタープランに沿った土地利用を進めるため、インター周辺開発の促進に向けて取組みを進めている。R2年度は、井上福島地区地区計画の策定（須坂市決定）ならびに白地地域の容積率制限の変更（長野県決定）を行い、開発事業者が開発行為の許可を得た。引き続き関係機関と官民の連携を図り、開発行為の完了および立地企業の早期の操業開始に向けて取組む。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
都市計画マスタープランに沿った拠点の整備を進めるため、引き続き官民が連携をして、インター周辺地区開発の計画的な推進に取り組む必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
都市計画マスタープランに沿った都市計画を今後も、継続して進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	